# 英語特区の推進と英語教育の充実

本市では、令和３年度より文部科学省から「英語特区」の指定を受け、市内全小中学校において夢や志をかなえる力の育成を進めています。児童生徒の「シビックプライド」の醸成を図りながら、実践的なコミュニケーション能力の向上と定着を目指す、本市独自の取り組みを紹介します。

㊐学校管理課　☎ 22-1342

## 「英語特区」と本市の目標

文部科学省では、学校の特色を生かして特別の教育課程を編成し、教育を実施する学校を「教育課程特例校」として指定しており、指定を受けた学校や地域を「特区」と呼びます。

本市の英語教育の目標は、①子どもたちが他国の文化を学び、ふるさと白石について紹介できる力を育成し「シビックプライド（まちへの誇りと愛着）」を育むこと、②英語を用いて自分の思いや考えを伝える発信力を高め、相手の思いや考えを理解できる実践的なコミュニケーションの能力を育むことの２点です。

小学校３年生から中学校３年生までは、基本的に全国どの学校でも「外国語活動」「外国語」の授業を実施しています。英語特区の本市では、コミュニケーションを高める時間として、幼稚園は年間20時間、小学校1、2年生は年間12時間、中学1、2年生は年間17時間の「しろいしイングリッシュ（SE）」を新設しました。発達段階に合わせた学習内容を編成し、幼・小・中の学びの連続性を意識した学習を進めています。

## 「英語特区」の取り組み

ある中学生が「英語が楽しいです」と話していました。教師やALT（外国語指導助手）との会話が好きとのことです。授業に活気があり、笑顔がありました。人と関わるための一つのツールとして実感しているようでした。

現在、本市では、①小学校英語専科教員3人の配置、②ALT6人の配置、③小中学校の英語推進委員の研修、④中学校区の小中授業交流会、⑤オーストラリアや上海とのオンライン交流、⑥夏休みイングリッシュデイの開催、⑦英語検定試験への補助、⑧児童生徒、保護者アンケート検証、⑨暗唱読本を活用した白石紹介、などの「学びを支える環境づくり」に取り組んでいます。

これからの社会をよりよく生きていくために、相手意識や目的意識を持ってコミュニケーションの楽しさを学んでいくことが大切です。児童生徒がさまざまな人たちと自分の思いや考えを伝え合うことができるよう、今後も英語特区の取り組みを推進していきます。



# 市内小中学校における英語教育の取り組み事例

### ■小学校１年生から英語教育に取り組んでいます　～しろいしイングリッシュ（SE）～

小学校１・２年生では、英語の言葉や表現に慣れ親しむことを目的として、「しろいしイングリッシュ」を行っています。

１年生では、英語の歌「Head＆Shoulders」に合わせて頭や肩を触りながら歌ったり、２年生では、友達とハンバーガーショップで注文をやりとりする活動を行ったりしています。英語を用いた交流を通して、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度が高まっています。

休み時間には、「Hello!」と笑顔であいさつをする児童も増えました。今後も、児童たちが五感を働かせ、楽しみながら学んでいく英語活動を繰り広げていきます。

▲ALT（外国語指導助手）が発音する単語を聞いて絵カードを探し当てるゲームを楽しむ１年生

### ■小学校５・６年生では「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」が加わります

小学校５・６年生では、音声で十分に慣れ親しんだ英語の語彙（ごい）や基本的な表現を用いて、英語によるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指しています。

６年生で行った「お薦めの国紹介」の学習では、興味を持った国について調べ、その国に行けばできることを「You can ～.」の表現を使って発表しました。児童は話すことが上手になることに加え、「もっと学習したい」という気持ちを高めています。この気持ちに応え、今後の中学校英語につながるよう、単語のつづりや発表文を英語で表すといった「書くこと」の学習にも力を入れていきます。

▲プレゼンテーションツールを用いてお薦めの国を紹介する６年生

### ■中学生は世界の人々と英語を介して交流できる力を育成しています

▲WEB会議サービスを活用して国際オンライン交流を行う中学生

市内４中学校では、授業で学んだことを実践する場として、オーストラリアとの国際オンライン交流を行っています。

オーストラリア・カウラ校と交流した東中学校では、日本の文化を英語で発信し、伝え合うことができることを目標に実施しました。オンライン開始直前まで練習を重ねた生徒たち。その成果もあり、楽しみながら目標を達成することができました。

碧水園で民謡を歌う中学生や、日本舞踊を踊る中学生の様子を動画で配信する演出には、カウラ校の皆さんはとても興味を持って見てくれました。